

「地域計画の実質化に向けた策定委員会の開催」（温江地区）

京都府 与謝野町農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	14人
○ 農地利用最適化推進委員：	11人
○ 事務局職員：	3人
○ 市町村行政との連携状況：	常時 (町長部局と兼務)



2 地区の特徴、状況、課題

○与謝野町は、京都府北部の旧3町（加悦町、野田川町、岩滝町）が合併した町で、大江山連峰から天橋立を望む阿蘇海まで流れる野田川流域に肥沃な農地が広がっている。町の中心から東側にある温江地区は大江山連峰の麓に位置し、世界でも稀な蛇紋岩地層からなる。中山間地の農地が多いのも特徴の一つである。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

○地区で地域計画策定委員会を立ち上げ、中核的担い手に任せる農地とそれ以外の農地をどのように守っていくか、新規就農者の育成や地区外から法人等に耕作を依頼する等を話し合っています。

○目標地図の策定については、協議内容を踏まえ進めていく予定です。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

○アンケート調査を実施し、105名に配布して78名から回収。（回収率74.3%）
○ワークショップ形式で地域の課題（農地・人・費用）について議論。
○数年後には担い手がいなくなるであろう集落において、個別に集会を実施し、今後の対応策を検討、情報の共有。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください